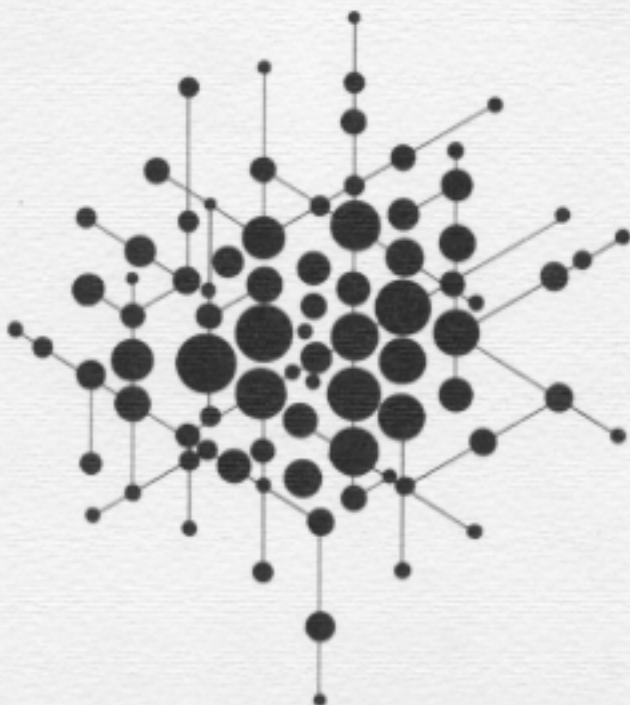




YAMAHA COMBO ORGAN

YC-30 **Playing Guide**
ヤマハコンボオルガンの手引



も く じ

ヤマハコンボオルガンYC-30の特徴	2
各部の名称	3
ご使用法と効果	5
セッティングについて	10
ヤマハの保証とサービスシステム	13
YC-30の仕様	14

ヤマハコンボオルガン

ヤマハコンボオルガンはヤマハエレクトーン
の経験をもとにI・C(集積回路)の使用等最新
のエレクトロニクス技術を導入し、開発いた
したものです。

音色の系別をCH・IとCH・IIに分けたこと、
種々の新しい効果を内蔵していること等によ
り新しい音、新しい音楽を生む無限の可能性
を秘めております。

又デザイン的にもポータビリティと演奏性を
重視したニュータイプのコンボオルガンです。
ヤマハコンボオルガンと電気ギター・ドラム
或はフルート・サクソフォン……等とのから
み合いはきっとすばらしいアンサンブルを生
み出します。

ヤマハコンボオルガンで思い切りニューサウ
ンドを表現して下さい。

ヤマハコンボオルガンYC-30の特徴

1：プリセット

プリセットパネルとプリセットタブレットの操作によりスムーズでユニークな演奏ができ大巾な音色変化と素晴らしい表現力が発揮できます。

2：タッチビブラート

タッチビブラートレバーの操作とフィンガーテクニックにより生きたビブラートがかかり曲想豊かでデリケートな演奏ができます。

3：鍵盤盤

61鍵5オクターブの上にマニュアルバスレバーを入れると低音17鍵がマニュアルバス鍵盤となり巾広い演奏が楽しめます。

4：トーンレバー

トーンレバー(カプラーレバー)の操作で音の組合せは無限に出来、特に1'のカプラーは一段と効果を増します。

5：音色変化方式

バランス・ブライトの選択により音色を広範囲にワンタッチで変化させることができます。

6：パーカッスイブ・アタック $2\frac{2}{3}$ '

音の立ち上がりが早く非常にはぎれのよいパンチのある演奏ができます。

7：マリンバ

マリンバ等によく用いられるオクターブ又は5度の連打(トレモロ)演奏が可能で他のレバーと共に用いると巾広い演奏を楽しむことができます。

8：ファズ

電気ギター等によく使用されているファズ音装置を内蔵しておりますので特にソロ演奏のときは一層効果を発揮します。

9：サスティン

8'にサスティンをかけることができムード的な演奏も可能です。

10. ポルタメント

ポルタメント鍵盤により音程を連続的に自由に変化させることができます。弦楽器や声楽で使われるいわゆるポルタメント演奏が可能で演奏によっては非常にこっけいな音を出すことができます。

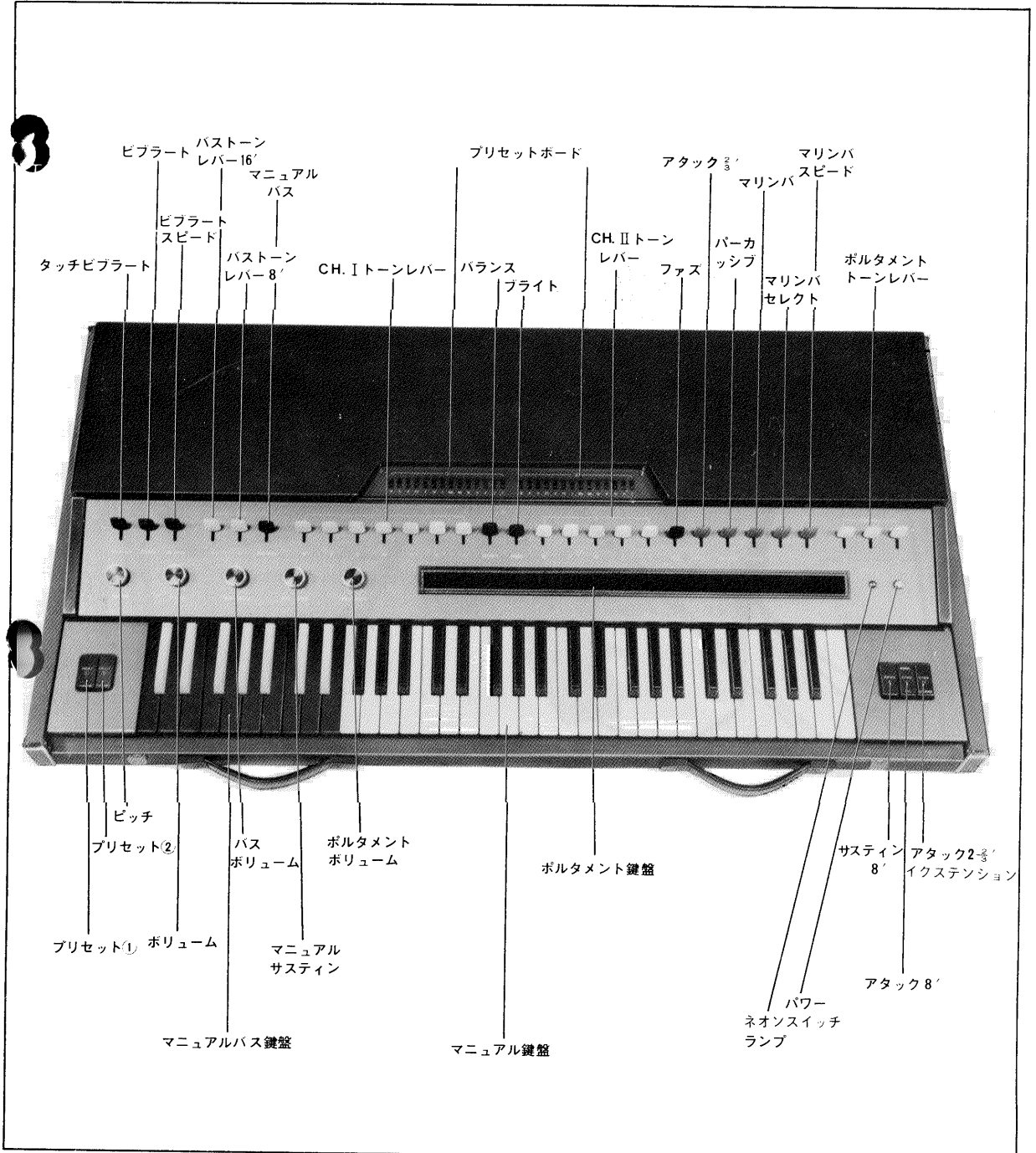
11. 本体回転方式

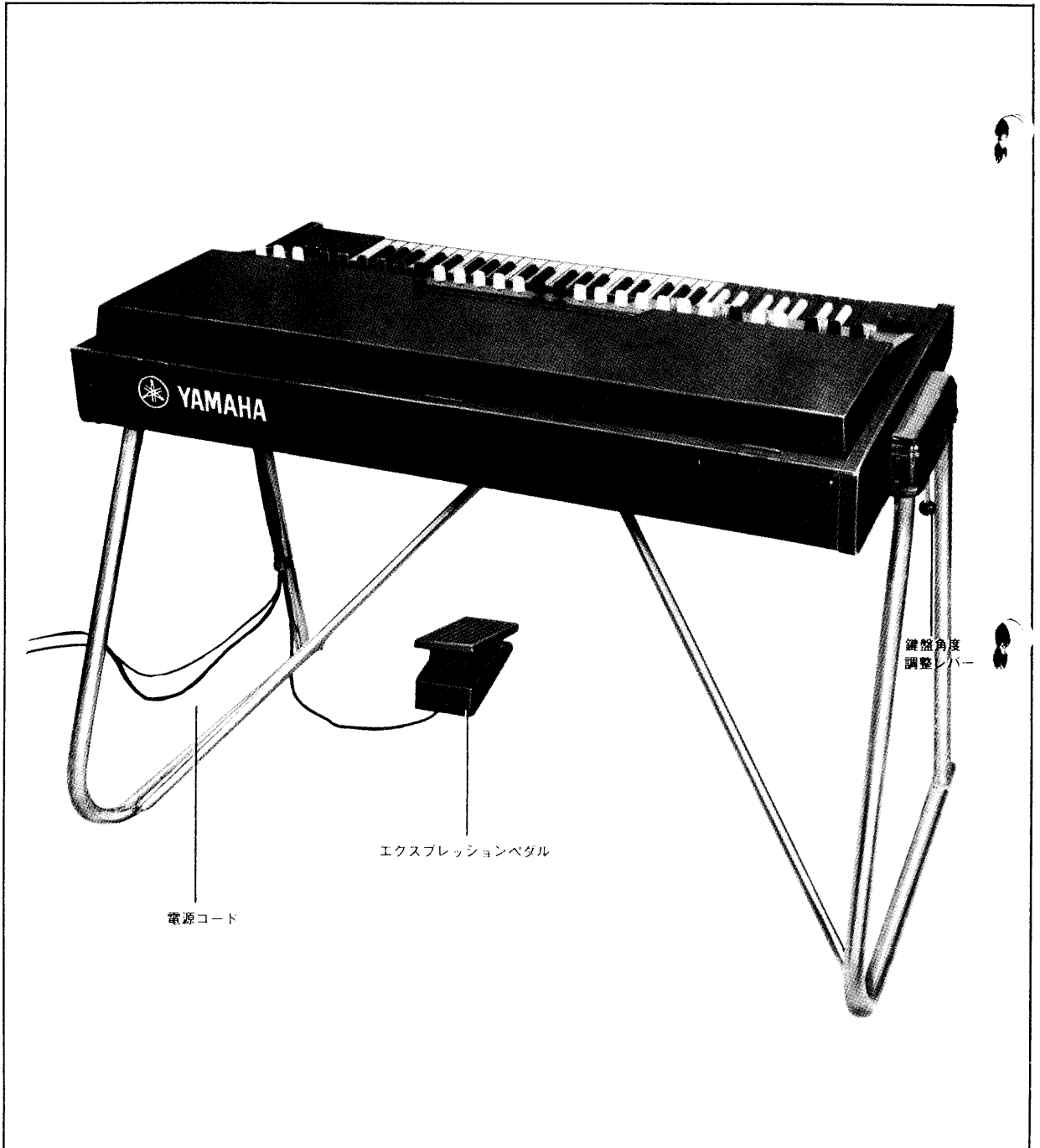
左右の脚にとりつけてあるレバーの操作により、本体の角度を自由に調整することができます。

12：I・Cを使用

最新のエレクトロニクスの技術を随所に駆使し集積回路(I・C)も使用しております。

各部の名称





ご使用法と効果

鍵盤

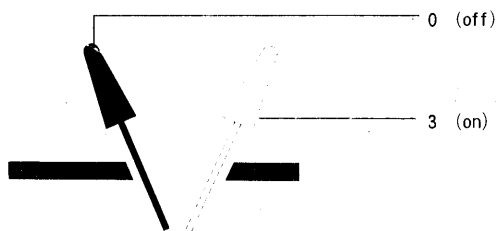
マニュアル 鍵盤	61鍵	C～c ₄
マニュアルバス 鍵盤	17鍵	C～e
ポルタメント 鍵盤		c ₁ ～c ₄

(マニュアルバスを入れた時のみ低音17鍵はマニュアルバス鍵盤となります。)

トーンレバー・バランス・ブライツ

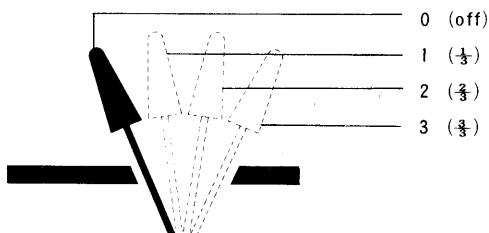
コンボオルガンの音色をきめるレバーで音色の音量を連続可変に調整することができ同時に16'、8'、4'……を組み合わせることによりカプラー効果を得ることができます。トーンレバーを指先で、手前にひくにつれ、音量は連続的にふえて行きます。途中2ヶ所でちょっと手ごたえがありますがこれはわかりやすいようにクリックストップになっているためです。(尚、CH・IもしくはCH・IIのトーンレバーを入れまないと音は出ません)

マニュアルバス、ファズ、マリンバセレクト、マリンバスビード



- いちばん鍵盤側に遠い位置を0。
- いちばん鍵盤側にひいた位置を3。

上記以外のレバー(但し、ブライツとバランスにはクリックはありません)



- いちばん鍵盤側に遠い位置を0。
- 1つ目のクリックストップまでひいた位置を1。
- 2つ目のクリック・ストップまでひいた位置を2。
- いちばん鍵盤側にひいた位置を3。

カプラーについて

カプラーとはカップルをつくるもの、つまり一つの音と別の音を組み合わせる働きをします。これによって一つの鍵盤を押しただけで幾つもの鍵を組み合わせさせて押した音がします。

まずトーンレバーのうち8'をいっぱいひき次に16'のレバーをいっぱいに入れてみます。16'のレバーを入れると音の高さが1オクターブ低くなります。つまりこれでもとの音にオクターブ近い音加わったことになり。そしてこの音は8'だけで出した音とそのオクターブ下の音をいっしょに出した場合と同じ二重音です。

しかし重音でひいた場合と違うのはカプラーではレバーをどの程度下げるかによって自由に音の強さを加減できることです。

従ってただの重音とは違い新しい音色が作り出せるというわけです。

〈カプラー効果〉

- 16' ……オクターブ下の音がでます。
- 8' ……実音(弾いた鍵と同じ高さ)がでます。
- 4' ……オクターブ上の音がでます。
- 2 $\frac{2}{2}$ ' ……オクターブ5度上の音がでます。
- 2' ……2オクターブ上の音がでます。
- 1 $\frac{2}{2}$ ' ……2オクターブ3度上の音がでます。
- 1' ……3オクターブ上の音がでます。

バランス

「バランス」はCH・IとCH・IIの混合比を変えるレバーです。

「バランス」が $\text{0}''$ の位置(向う側)のときはCH・Iのトーンレバーによってのみ音色変化ができ「バランス」が $\text{3}''$ の位置(手前側)のときはCH・IIのトーンレバーによってのみ音色を変化させることができます。

「バランス」が0～3の間の中るときはCH・I、CH・IIの両方のレバーの操作により音色を変えることができます。

ブライト

CH・IIの音色は「ブライト」で大巾に変えることができます。

ブライトが $\text{0}''$ の位置のときはフルート系 $\text{3}''$ のときはストリング系の音色になります。

プリセットボード・プリセット①・プリセット②

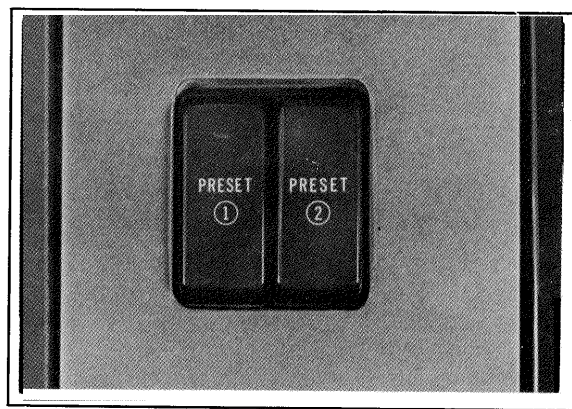
プリセットはYC-30がとり入れた画期的な機能です。あらかじめプリセットボードのトーンレバーを曲想に応じてセット(プリセット)しておき演奏途中プリセットタブレットの操作によって、トーンレバーの操作ではとても時間的に切り換える余裕のない場合でも瞬時に切り換え変化の大きな演奏ができます。

プリセットボード(プリセットパネル)は下図のように鍵盤の向う側の中央上部にあります。

プリセットボードにはマニュアル鍵盤のトーンレバー系列CH. I・CH. II バランス・ブライツが2組セットしてあります。(①・②)プリセットレバーはトーンレバーに対応しクリック操作も全く同じです。

あらかじめ演奏の前にプリセットレバーで音色を選択しておきプリセットタブレット①、又は②を入れますとセットした音色になります。プリセット①・プリセット②を同時に入れたときはプリセット②が優先します。

プリセットタブレット①・②はそれぞれプリセットボードの①・②に対応します。



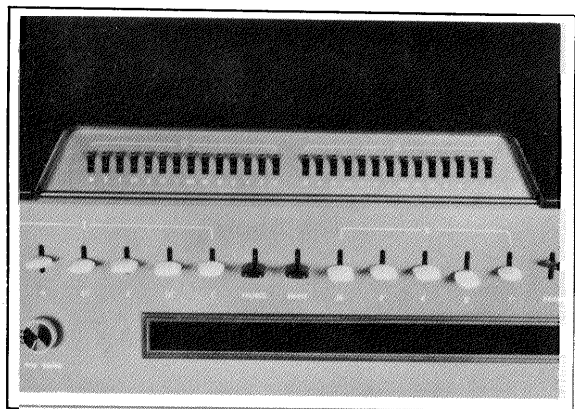
マニュアルバス・マニュアルバストーンレバー・バスボリューム

マニュアルバスのレバーを入れますと(3'にする)低音部の白鍵・黒鍵が逆になっている17鍵はバス音に変わり音色はトーンレバー16'・8'の組合せによって変えることができます。また音量はバスボリュームによって大きく(小さく)することができます。

ポルタメント・ポルタメントトーンレバー・ポルタメントボリューム

ポルタメント鍵盤の音程はほぼマニュアル鍵盤の音程と対応しており音程を連続的に変化させることができます。

又、2点を押えた場合にはその中間の音がしCに近い部分の時はCの音がします。(2点間の距離がはなれすぎているときは音が出ません)音色はポルタメントトーンレバー16'・8'・4'を適当に組合わせる事により巾広い変化が楽しめます。



音量はポルタメントボリュームによって適当に調節することができます。

ファズ

ファズのレバーを入れますとファズ音が得られます。このファズ音はCHI・CHIIのトーンレバーに対してのみききます。(プリセットにもききます。)

従ってマニュアルバス・ポルタメント・アタック・パーカッシブ・マリンバにはききません。

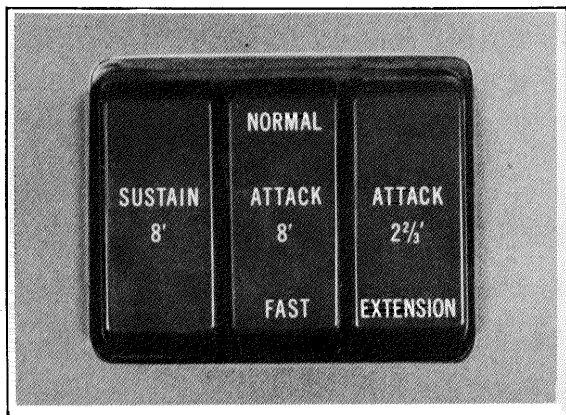
アタック $2\frac{2}{3}$ ' ・アタック $2\frac{2}{3}$ 'イクステンション

アタック $2\frac{2}{3}$ 'レバーを入れますと $2\frac{2}{3}$ 'の音色にアタックがかかります。

アタック $2\frac{2}{3}$ 'はイクステンションが切つてあるときは $c_1\# \sim c_4$ までの36鍵にわたつてかかりますがイクステンションタブレットを入れる(ONにする)とC $\sim c_4$ の61鍵全体にかかります。

パーカッシブ

パーカッシブは最初に押した鍵盤のみ発音しその鍵盤を押したままではあとで押した



鍵盤は発音しません。発音させるためには最初に押した鍵盤をはなさなければなりません。パーカッシブは歯切れの良い音がしスタカート演奏には最適です。

マリンバ・マリンバセレクト・マリンバスピード

マリンバにはオクターブの連打と5度の連打がありますがマリンバセレクトがOFF(レバーの位置が $0''$ のとき)のときはオクターブ、ON($3''$ のとき)のときは5度になります。また連打の速さはマリンバスピードによって約5Hz \sim 9Hzまで可変できます。

タッチビブラート・ビブラート・ビブラートスピード

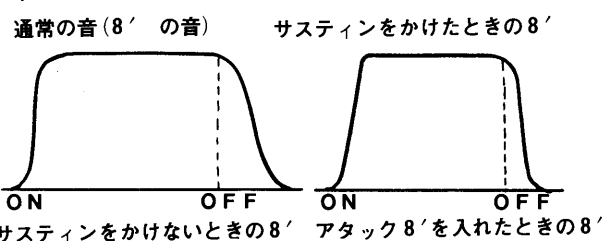
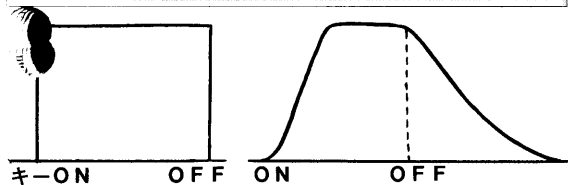
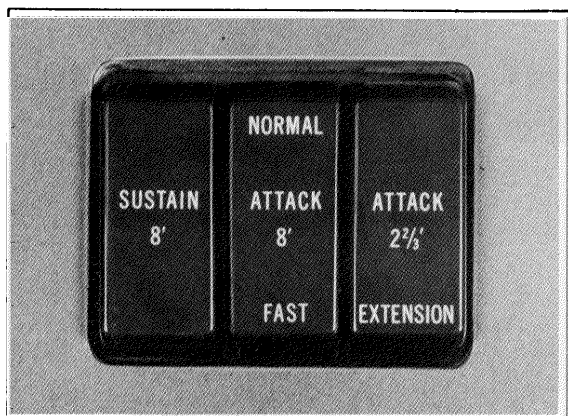
タッチビブラートレバーを入れ鍵盤を左右に振動させることによりその動きに応じてビブラートがかかります。フィンガーテクニックでゆるやかな又、こまやかなビブラートが自由自在に表現できます。通常のビブラートはビブラートレバーを入れることによりビブラートがかかりますスピードはスピードレバーによって約5.5Hz \sim 8Hzまで可変できます。ビブラートレバーを入れますとタッチビブラートは自動的にかからなくなります。

サスティン8'・アタック8'・マニュアルサスティン

サスティン8'タブレットをONにすると8'のみにサスティンがかかります。

このサスティンの長さはマニュアルサスティンボリュームによって調節することができます。

マニュアルサスティンボリュームを最小としたときはサスティン8'タブレットをOFFしたときと同じ状態になります。またサスティンタブレットをOFFしたとき8'の音の立上りを早くするためにはアタック8'を入れます。ただしサスティン8'タブレットがONになっているときには全く関係ありません。



ピッチ

標準状態ではA = 440 Hz に調律してありますがピッチボリュームを動かすことによってA = 439 ~ 445 Hz まで全体的に変化させるこ

とができます。

ボリューム

全体の音量をこのボリュームつまみにより可変出来ます。

ネオンランプ及びパワースイッチ

パワースイッチは一度押すと電源はONしさらに押しますとOFFになります。

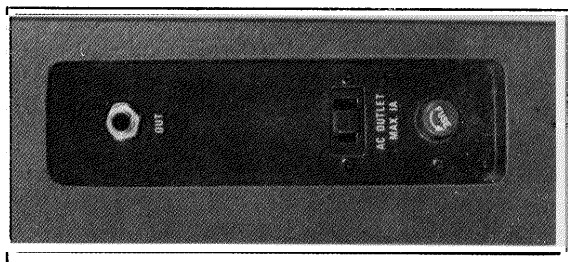
さらにおせば再びONになります。電源のON・OFFはネオンランプの点滅によってわかります。

スペアヒューズ

蓋に定格1Aの普通ヒューズが2本添付してあります。

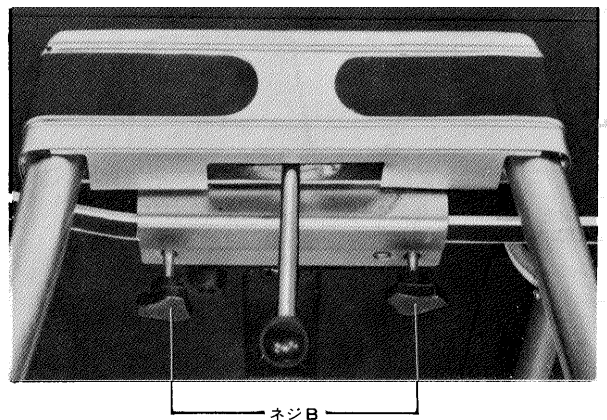
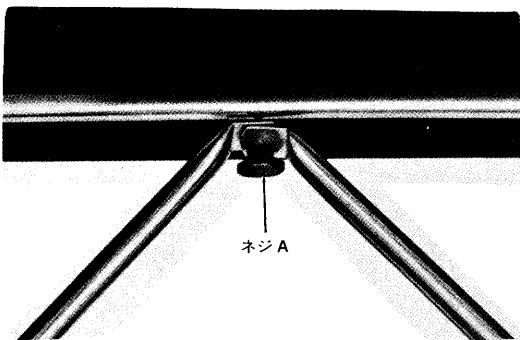
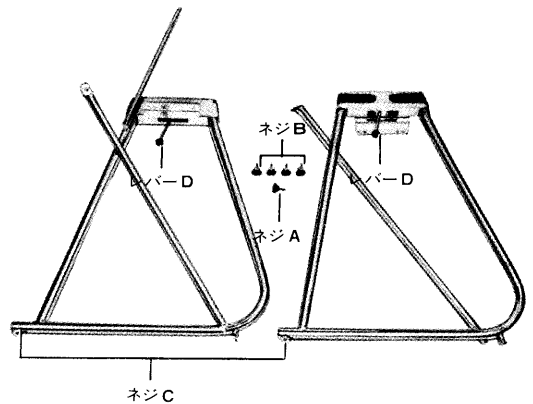
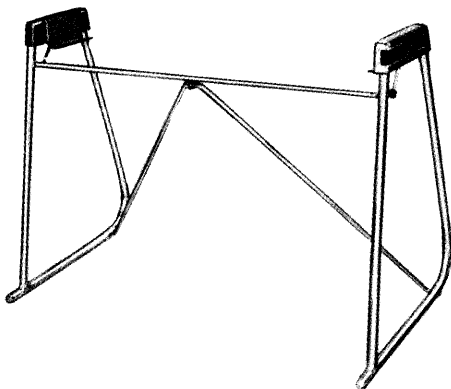
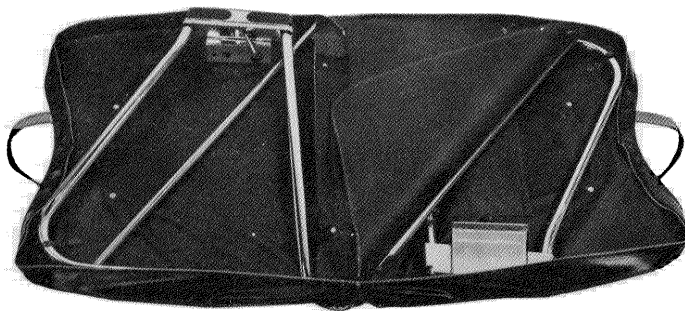
使用中電源のショック等で溶断することがありますので、ネオンランプが点灯しないとき音が出ないときヒューズをお調べください。溶断していた場合にはヒューズをお取り換え下さい。

尚、定格の異なるヒューズを御使用になりますと内部電気回路の破損等をひきおこしますので絶対にお使いにならないで下さい。

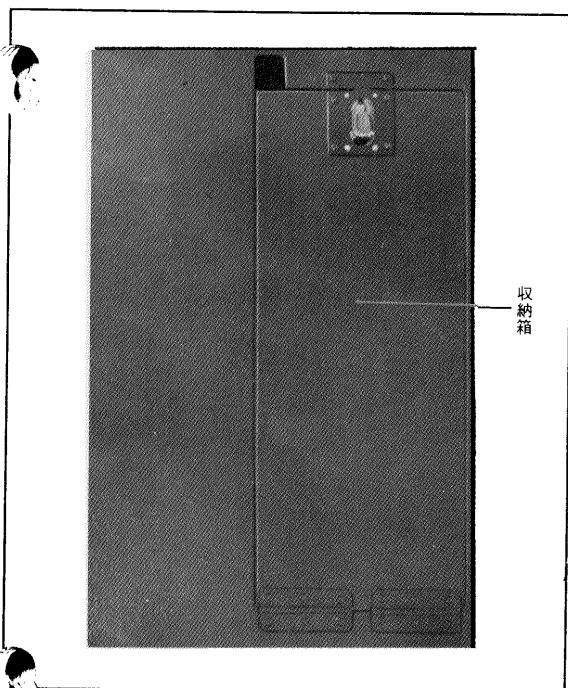


セッティングについて

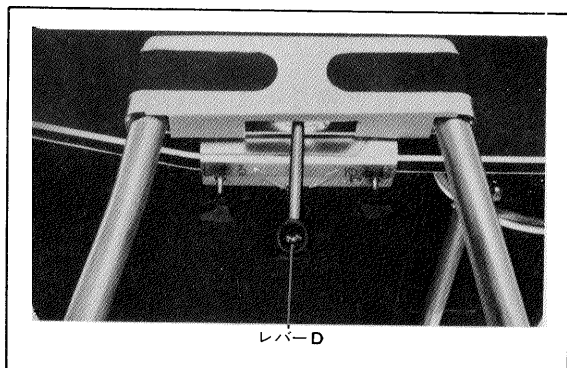
- 1 : 脚の入っているケースより脚を取り出し2つにわかれていた脚をネジAでつなぎます。
- 2 : つながった脚を本体と組合わせネジB (4本)でしっかり取りつけます。



3：収納箱の鍵をつまみ蓋をあけますとエクスプレッションペダルと電源コードが取り出せます。



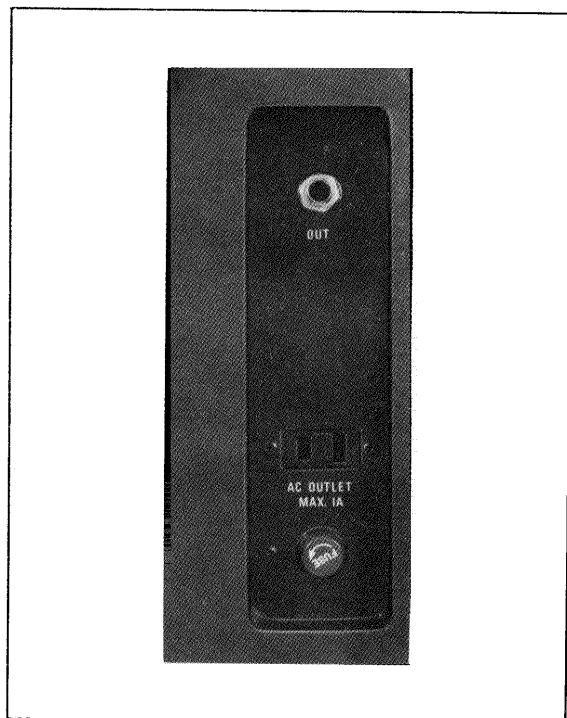
6：側面両側にあるレバーDをゆるめ好みの角度にしてからロックします。



7：マイクコードは脚の入っている袋の中にありますので取り出しoutとアンプをつないで下さい。

4：立てた時のバランスはネジCで調節して下さい。

5：本体の蓋をとります。蓋は引っかけ蝶番ですから蓋を上方にもちあげ蓋をとって下さい。



8：電源コード・マイクコード等は脚についておりますコード止めをご利用下さい。
セッティングは以上の様ですがしまいこむ際には、これと逆な手順で収納下さい。
尚、その際にエクスペッションペダルと電源コードを収納するときに蓋にはさまない様にご注意下さい。

その他の注意事項

○ヤマハコンボオルガンにはI・C（集積回路）を使用しておりますので万一不調の際、中のシート関係にはお手を触れない様御注意下さい。手を触れますと、人体の帯電気によってI・Cが破損致しますので故障のときにはヤマハ特約店直営店へご持参下さい。

ヤマハの保証とサービスシステム

保 証

ヤマハコンボオルガンYC-10・YC-20、YC-30の保証は、保証書によりご購入より満一年といたします。

但し、現金・ローン・月賦などによる区別は一切いたしません。また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

保 証 書

コンボオルガンに保証書が添付されていますので、販売店、店頭にて諸事項を記入して頂いたうえ、大切に御保管下さい。

アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合にはヤマハ特約楽器店・直営店にご持参いただき、技術者が調整修理いたします。

お問い合わせの際は必ず保証書をご提示ください。ご提示なき場合、あるいは紛失された場合には保証期間中でもサービス料金を頂戴いたしますからご了承ください。

保証期間後のサービス

満一年の保証期間が切れますと、サービス料金を頂戴いたしますがいつまでも責任をもってサービスいたします。

YC-30の仕様

鍵盤

61鍵 C-c4

(マニュアル鍵盤44鍵・バス鍵盤17鍵)

ポルタメント c1-c4

トーンレバー

CH・I 16'・8'・4'・2 $\frac{2}{3}$ '・2'1 $\frac{2}{3}$ '
1'

CH・II 16'・8'・4' 2'・1'

マニュアルバス 16'・8'

ポルタメント 16'・8'・4'

効果

タッチビブラート・ビブラート・ビブラート
スピード・ブライト (CH・II) アタック
2 $\frac{2}{3}$ '・パーカッシブ・マリンバ・マリ
ンバセレクト・マリンバスピード・サステ
イン (8')ファズ・プリセット①プリセット
②・アタック8'・アタック2 $\frac{2}{3}$ 'イクステン
ション

その他

ピッチ・ボリューム・バスボリューム・マ
ニュアルサステイン・ポルタメントボリュ
ーム・パワースイッチ・エクスプレッショ
ンペダル

消費電力

100V AC 50~60Hz 25W

IC 24

トランジスタ 243

ダイオード 94

寸法

巾 1,109mm

深さ 620mm

高さ 922mm

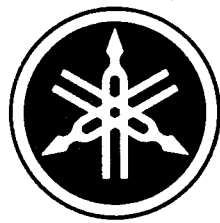
重量

40kg

外装

ボディ ブラックビニールレザー
コントロールパネル

ポリエステルツヤ出し黒
色又は赤色もしくはポリ
エステル半ツヤアメリカ
ンウォールナット



YAMAHA